

# 川柳アート

選者：川柳アート  
八木健（月刊川柳総合誌）  
「川柳マガジン」三元選者

94

特選



初夢の初恋のひと年取らず  
金子壺

初夢の初恋のひと年取らず  
半世紀ぶりというクラス会の案内に「初恋の人が婆さんになってるのを見るのはイヤ」と欠席の返信書いた奴がおるで。  
金子 壺（東温市）



秤より  
確かな  
妻の  
一掴み

花山 昇

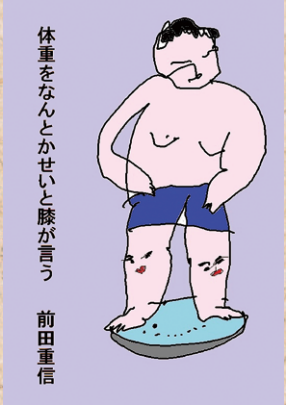
秤より確かな妻の一掴み  
花山君は妻に習って味付けしてみたんだけど無理だったのですね。それは…、実は、同じ白い色の砂糖と塩を取り違えたんだと。  
花山 昇（松山市）

佳作



満腹の胃に逆らって口が喰う  
馬越治子

満腹の胃に逆らって口が喰う  
口と胃は別人格ですから制御は困難。将来的には胃袋に判断させ、胃手を移植することを京大の山中さんに頼んでおきます。馬越 治子（今治市）



体重をなんとかせいと膝が言う  
前田重信

体重をなんとかせいと膝が言う  
食事制限は膝への負担軽減を配慮するとよろしい。古人は膝詰談利と言って摂取カロリーについて膝小僧に相談したものです。前田 重信（愛南町）



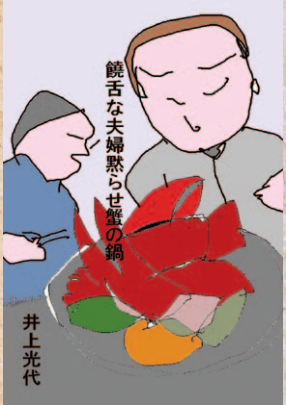
地球の汚染心配をする宇宙人  
藤原白男

地球の汚染心配をする宇宙人  
宇宙人の地球訪問が頻繁。温暖化で地球人が宇宙に別天地を求めることを予測して、地球汚染を宇宙に広げない対策をたてるためとか。  
藤原 白男（今治市）



砂時計のくびれに妻は嫉妬する  
谷原則夫

砂時計のくびれに妻は嫉妬する  
あんな風にくびれに妻は嫉妬するね。それに砂時計のようにさらさらの「お通じ」はうらやましいわね。ガラスの服もおしゃれだわね。  
谷原 則夫（松山市）



饞舌な夫婦黙らせ蟹の鍋  
井上光代

饞舌な夫婦黙らせ蟹の鍋  
年に一度ぐらいのチャンスですからね。しゃべるわけにはゆかん。美味でしたね。もし毎日カニ鍋なら、一生しゃべらなくてもいいですよ。素敵な提案ね。井上 光代（宇和島市）



生れつき持ち家と言うかたつむり  
宮井園江

生れつき持ち家と言うかたつむり  
虫といえども一戸建ちの移動式で、キャンピングカーみたいなもので、デザインの渦巻きも素敵だわね。それに食事もすべてベジタブル。  
宮井 園江（松山市）



孫を見習う  
おばあちゃん（松山市・70歳）

夫の楽しみは家庭菜園とイカ釣りと、電話で孫の声を聞くことである。孫が電話をくれた時、夫はイカ釣りに行って留守だった。翌日、孫から電話があった。夫が「ごめんね。おじいちゃん留守して」と言う、「私の方こそごめんね。おじいちゃんの都合も考えないで」と言ったらいい。万事このように相手を思いやる6年生の孫娘に2人で感心している。

誰？  
昔美人（宇和島市・68歳）

押し入れを整理していたら、結婚当初の写真が出てきた。2人とも実にかわいらしい！夫に見せると「ん、誰？うーん、変われば変わるものだ」と私の顔をまじまじと見つめる。「そっちの方が別人28号だ。何ひとつ昔の面影が残っていないよ」と当然の反論。いやそっちだ、そっちだといいた2人の他愛もない言い合い。結局は互いに随分年を取ったなあと思ふ。年を取ると物悲しいけれど、年相応のわびさびのある、味のある顔になっているはずと思いたい。

至福の時間

ぷみまろ（松山市・41歳）

読書が大好きな私。子どもが小さく、内職していた頃は、作業しながら本を読むという技を身に付け、1日何時間も読書ができた。単純作業の眠気防止にもなった。でも今は立ち仕事。飲食店のパートになり、読書の時間は激減。寝る前に読むかと思っても、目で見ると疲れるから涙が出る。最近はお花や花のきれいな写真がたくさん載っている本を眺めてから、寝ることにしている。それはそれで至福の時間だ。

ください。採用の方には、1,000円分の図書カードをお送りします。  
川柳とひろばのあて先は下記の通りです。住所、氏名、電話番号、性別、年齢をお書きください（ペンネームも可。必ず氏名を記入してください）。  
※ご応募いただいた個人情報、適切に取り扱います。  
〒790-8511 松山市大手町1丁目12-1  
アクリート編集室 通信係  
Eメール accrete@enp-sc.jp

### お便り募集

○川柳  
テーマは自由。未発表のオリジナル作品に限ります。採用された作品には選者・八木健さんが切り絵やCGを使った「川柳アート」を作り、本誌に掲載の上、採用者にプレゼントします。  
○ひろば  
エッセーなどを募集しています。テーマは自由、200字以内。誌面の都合上、原稿を割愛、修正する場合があります。ご了承ください。